

# イルカ通信

小笠原ホエールウォッチング協会 (OWA)

2009年12月1日 No. 033

隔月1回発行  
バックナンバーは無料でダウンロードできます  
(下記参照)

## 「個体識別の先にあるもの」

先月のイルカ調査で#20親子とザック(#9)親子に遭遇。ウェザー沖で出会ったのは#20とザックを含む親子グループ。南島沖では#20の娘#19とザックの息子#232の若者グループ。親と子が別々の場所で行動していたようですね。このように、個体識別調査を続けていくことで、イルカの血縁関係だけでなく社会的な結びつきが少しずつ分かってきます。

ミナミハンドウイルカに限らず多くのイルカ・クジラ類や霊長類(人間含む)などは、集合と離散を繰り返す流動的な社会的な結びつき(集合離散)を持っていることが知られています。集合離散を噛み砕いて説明してみましょう。「19子は朝食を食べながら家族と団らん。登校後は同級生達と授業をうけ、放課後には部活の仲間達と汗を流す。夕方は232太郎と初デート。帰宅後は親戚一家と夕食タイム。親戚一家の帰宅後は再び家族での団らん」。家族、同級生、部活の仲間、彼氏、親戚、再び家族、異なるメンバーとくっいたり離れたりしていますが、それぞれが意味を持ったグループとして成り立っていますね。これが集合離散という社会的な結びつきのイメージです。

さて、イルカの社会に話を戻しましょう。ハンドウイルカでは親子グループやオスメスが入り混じった若者グループなど、様々なグループを作ることが知られています。#19が初めて確認されたのは2003年。当時は常に母親と一緒にでしたが、2006年以降母親とは別々に行動している様子も確認されています。もしかしたら、すでに親離れしているのでしょうか。今後#19と#232は若者グループとして行動し、時が来たら#19は育児のために母親と共に親子グループとして行動するのかもしれませんが。今後の調査で、これらのグループの形成と消失過程について面白い事実が見つかったら嬉しいのですが、どうなることやら。



ある時は集団で・・・



またある時は1頭で・・・



写真：背びれの模様が特徴的な#27(通称チューヤン)



背びれの形が、なんだか「チュ〜」とくちびるをつきだしているみたい!?

## 「イルカの総合学習」

10月下旬、小笠原中学校2年生を対象としたイルカの総合学習を実施しました。事前学習+海洋実習+事後学習の三本立て。しかも計8時限の足かけ二日間。ボリュームたっぷりの内容です。

事前学習ではイルカとクジラの違い、イルカの視力、イルカは匂いを感じるか、イルカはどこから音を出してどこで音を聞くのか、何種類のイルカ・クジラが小笠原で確認されているのかなど、知ってるようで知らないイルカの基礎知識についてのレクチャーを実施しました。

海洋実習では実際に海に出てイルカ調査を体験してもらいました。イルカを驚かさず入水方法、イルカ観察のポイント、注意すべきイルカの行動について話をした後、準備運動も兼ねてみんなで泳ぎの練習です。船長とスタッフの手ほどきを受けた後、いよいよイルカ探しに出発。しかし最初に向かった南島周辺でも、兄島や弟島西側の海域でもイルカを発見できません。しかもあいにくの雨模様。あきらめて父島へ戻る帰路の途中、ついに猫岩付近でイルカの背びれを発見。テンションが下がり気味だった生徒達も大喜びです。イルカの様子を注意深く観察しながら、ドルフィンスイムの自主ルールに基づいた上で、イルカ調査を無事に実施することができました。ツアーだと一緒に泳いで楽しかった!...で終わりますが今回は総合学習、まだまだ事後学習が残っています。

父島に戻ってからは、パソコンモニターに映し出された約200頭あまりの個体識別データとにらめっこしながら、生徒達自身が観察した個体の識別にチャレンジ。特徴的な個体はすぐに分かるも、若干分かり難い個体もいたようです。ちなみに今回の調査で確認されたのは、1996年9月から確認されている#27(通称チューヤン)、2002年5月から確認されている#105、2001年2月から確認されている#5、そして今回の調査体験で初めて確認された#263の計4個体でした。

イルカの総合学習。島周りにイルカが定住し、そして気候が温暖な小笠原ならではの授業でした。自分が中学生の時、こんな授業があったら楽しかったのにと羨ましい限りです。今回の授業を通して、島の中学生達が少しでもイルカに興味を持ってくれますように。

小笠原ホエールウォッチング協会  
〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町

URL <http://www.ogasawara.or.jp/owa>  
Tel 04998-2-3215 e-mail [owa@h6.dion.ne.jp](mailto:owa@h6.dion.ne.jp)

イルカ通信はOWAのホームページ (<http://www.ogasawara.or.jp/owa>) もしくは (<http://www.h2.dion.ne.jp/~owa/nukatsushin/nukatsushin.html>) からダウンロードできます(無料)